

担当講座	医療安全学講座	問合せ先	医療安全学講座
分野責任者	肥田 圭介 教授	連絡先	内線6323
担当教員	肥田 圭介 教授		
人材育成の 基本理念	医療の質と安全を向上するための知識・技術を習得し、医療安全管理に従事できる能力に到達する。		
主な研究内容	医療の質と安全の向上を目的として、実際の事例やレポートデータを用いて実践的な臨床研究を行う。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	医療安全管理者として、患者家族をはじめ多職種との良好なコミュニケーションを行える能力を備え、チーム医療のリーダーとしてあるべき規範を示すことができる。医療倫理、心理学、人間工学等、医療以外の分野にも視野を広げることにより、医療の質と安全を向上すべく、様々な事例に対する原因分析・対策立案が可能な能力に到達する。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8	
到達目標	到達目標	対象科目	
	(1) 生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる。	ベーシックセミナー	
	(2) 適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。	研究方法論、医療安全学演習1、医療安全学演習2、医療安全学演習3、医療安全学演習4	
	(3) 得られた研究結果を正しく解釈できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、医療安全学演習1、医療安全学演習2、医療安全学演習3、医療安全学演習4	
	(4) 解析結果ををまとめ、発表できる（英文が望ましい）。	特別研究ⅠⅡⅢ、医療安全学演習2、医療安全学演習4	
	(5) 病因の解明や治療法の発展に寄与できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、医療安全学演習3	
	(6) 次世代の人材育成に貢献できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、大学院セミナー	
	(7) 医療安全に関する基本的考え方を学び実践できる。	医療安全学セミナー1、医療安全学セミナー2、医療安全学セミナー3、医療安全学セミナー4、医療安全学演習1、医療安全学演習2、医療安全学演習3、医療安全学演習4	
	(8) ヒューマンファクター・エラーについて説明し、事故の要因分析ができる。	医療安全学セミナー1、医療安全学セミナー2、医療安全学セミナー3、医療安全学演習1、医療安全学演習2	
	(9) 全国の医療事故事例報告書を調査し対策を実行できる。	医療安全学セミナー1、医療安全学演習3	
	(10) TeamSTEPPSを理解し、チーム医療の実践に応用できる。	医療安全学セミナー4、医療安全学演習4	
	(11) 医療の質・安全にかかわる論文を評価し、最新のエビデンスを説明できる。	医療安全学セミナー2、医療安全学セミナー3、医療安全学セミナー4、医療安全学演習3、医療安全学演習4	
資格取得等	特になし		
履修に関する 情報	社会人大学院生など、勤務等で授業に出席できない場合は、日程等の調整に応じる。入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論（2単位）」に加えて、選択必修科目を履修することが望ましい。		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分		配当年次	科目名		開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特 論	必修	1～2年	講義	医療安全学セミナー1	通年	8	1	20単位	
		3～4年	講義・演習	医療安全学セミナー2	通年	8	1		
		3～4年	講義・演習	医療安全学セミナー3	通年	8	1		
		3～4年	講義・演習	医療安全学セミナー4	通年	8	1		
		1～4年	演習	医療安全学演習1	通年	30	4		
			演習	医療安全学演習2	通年	30	4		
			演習	医療安全学演習3	通年	30	4		
			演習	医療安全学演習4	通年	30	4		
特別 研 究	必修	2年		特別研究Ⅰ（初期審査）	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目
		3年		特別研究Ⅱ（中間審査）	通年	8	1		
		4年		特別研究Ⅲ（論文作成）	通年	15	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

医療安全学

コード	MD13161010					MD13161020					MD13161030					MD13161040				
科目	医療安全学セミナー1					医療安全学セミナー2					医療安全学セミナー3					医療安全学セミナー4				
科目責任者	肥田圭介					肥田圭介					肥田圭介					肥田圭介				
担当者	肥田圭介					肥田圭介					肥田圭介					肥田圭介				
会場	附属病院カンファレンスルーム					附属病院カンファレンスルーム					附属病院カンファレンスルーム					附属病院カンファレンスルーム				
区分等	区分	講義	単位	1	区分	講義・演習	単位	1	区分	講義・演習	単位	1	区分	講義・演習	単位	1	区分	講義・演習	単位	1
	回数	通年8コマ	配当年次	1~2	回数	通年8コマ	配当年次	3~4	回数	通年8コマ	配当年次	3~4	回数	通年8コマ	配当年次	3~4	回数	通年8コマ	配当年次	3~4
主な授業内容	医療の質と安全にかかわる基本的な知識					ヒューマンファクターズとシステムアプローチ、質改善の手法と患者安全					医療事故調査 医療メディエーション					チーム医療（多職種連携） リーダーシップとフォロワーシップ				
教育成果	医療安全の概念が必要となった歴史的背景を学び、本邦における政策の経過を通じ医療の質と安全に対する基本的な知識を習得する。					医療現場におけるヒューマンファクターズとヒューマンエラーにかかわる事故事例を学び、システムズアプローチの視点から再発予防策が立案できる。					医療事故に関して学ぶとともに、医療事故調査制度について理解を深める。調査における医療メディエーターの役割を知るとともに医療事故発生時の医療安全部門の役割を行う能力を習得する。					チーム医療の必要性を理解し、チーム医療におけるリーダーシップ（フォロワーシップ）について学び、TeamSTEPPSの基本事項を習得し実践できる。				
コンビテンス番号/達成度	コンビテンス1 C	コンビテンス2 C	コンビテンス3 C	コンビテンス4 C	コンビテンス5 C	コンビテンス1 B	コンビテンス2 B	コンビテンス3 B	コンビテンス4 B	コンビテンス5 B	コンビテンス1 B	コンビテンス2 B	コンビテンス3 B	コンビテンス4 B	コンビテンス5 B	コンビテンス1 A	コンビテンス2 A	コンビテンス3 A	コンビテンス4 A	コンビテンス5 A
	コンビテンス6 C	コンビテンス7 C	コンビテンス8 C			コンビテンス6 B	コンビテンス7 B	コンビテンス8 B			コンビテンス6 B	コンビテンス7 B	コンビテンス8 B			コンビテンス6 A	コンビテンス7 A	コンビテンス8 A		
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の欠けは履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

コード	MD13161050					MD13161060					MD13161070					MD13161080				
科目	医療安全学演習 1					医療安全学演習 2					医療安全学演習 3					医療安全学演習 4				
科目責任者	肥田圭介					肥田圭介					肥田圭介					肥田圭介				
担当者	肥田圭介					肥田圭介					肥田圭介					肥田圭介				
会場	附属病院カンファレンスルーム					附属病院カンファレンスルーム					附属病院カンファレンスルーム					附属病院カンファレンスルーム				
区分等	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4
	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年30コマ	配当年次	1~4
主な授業内容	医療安全管理部ミーティング					医療安全院内巡視					院内急変対応（コードブルー、コードイエロー）					TeamSTEPPS				
教育成果	インシデント・アクシデント報告を分析し対策防止策が立案できる。院内の事例を通じて医療の質と安全にかかわるマニュアルを作成、提案できる。					巡視を通じて医療安全対策のPDCAサイクルが実行されているか確認するとともに、未施行事例に対しては原因を分析し現場に指導することができる。					院内急変に対するRapid response system, Rapid response teamの意義を理解しRRTの一員として活動する。コードイエロー、コードブルー事例を振り返り予防の有無を検討するとともに関連部署に提案ができる。					TeamSTEPPS講習を受講し実臨床に応用し、リーダーとしてチーム医療に貢献できる。TeamSTEPPS講習の講師としてその意義を伝えることができる。				
コンビテンス番号/達成度	コンビテンス1 C	コンビテンス2 C	コンビテンス3 C	コンビテンス4 C	コンビテンス5 C	コンビテンス1 B	コンビテンス2 B	コンビテンス3 B	コンビテンス4 B	コンビテンス5 B	コンビテンス1 B	コンビテンス2 B	コンビテンス3 B	コンビテンス4 B	コンビテンス5 B	コンビテンス1 A	コンビテンス2 A	コンビテンス3 A	コンビテンス4 A	コンビテンス5 A
	コンビテンス6 C	コンビテンス7 C	コンビテンス8 C			コンビテンス6 B	コンビテンス7 B	コンビテンス8 B			コンビテンス6 B	コンビテンス7 B	コンビテンス8 B			コンビテンス6 A	コンビテンス7 A	コンビテンス8 A		
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の欠けは履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

●各科目の授業計画													医療安全学						
コード	MD13169010					MD13169020					MD13169030								
科目	特別研究Ⅰ					特別研究Ⅱ					特別研究Ⅲ								
科目責任者	各（正）指導教員					各（正）指導教員					各（正）指導教員								
担当者	各指導教員					各指導教員					各指導教員								
会場	各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定								
区分等	区分	演習		単位	1	区分	演習		単位	1	区分	演習		単位	2				
	回数	通年8コマ		配当年次	2	回数	通年8コマ		配当年次	3	回数	通年15コマ		配当年次	4				
主な授業内容	・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・初期審査の準備					・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査の準備					・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備								
教育成果	生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 ＜初期審査＞2年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。					生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 ＜中間審査＞3年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。					生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 ＜論文作成＞学位申請までに実施。論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。								
コンビ・テンス番号/達成度	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5	コンビ・テンス1	コンビ・テンス2	コンビ・テンス3	コンビ・テンス4	コンビ・テンス5				
	C	C	C	C	C	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A				
	コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8			コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8			コンビ・テンス6	コンビ・テンス7	コンビ・テンス8						
	C	C	C			B	B	B			A	A	A						
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 初期審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。								
評価方法	「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD（A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点）の4段階評価とし、ABC（60点以上）を合格とする（60点未満は再提出）。																		
講義日程	時間割参照																		
教科書 参考書																			

●時間割

医療安全学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20	医療安全学演習 1					医療安全学セミナー1/共通教育科目
2 限	10：30～12：00	医療安全学セミナー 2					共通教育科目
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10		医療安全学演習2				
5 限	18：00～19：30		医療安全学セミナー 3	医療安全学演習 3	医療安全学セミナー4	医療安全学演習4	
6 限	19：40～21：10			特別研究 I ～Ⅲ			
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20	医療安全学演習 1					医療安全学セミナー1/共通教育科目
2 限	10：30～12：00	医療安全学セミナー 2					共通教育科目
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10		医療安全学演習2				
5 限	18：00～19：30		医療安全学セミナー 3	医療安全学演習 3	医療安全学セミナー4	医療安全学演習4	
6 限	19：40～21：10			特別研究 I ～Ⅲ			

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30						
6 限	19：40～21：10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8：50～10：20						
2 限	10：30～12：00						
3 限	13：00～14：30						
4 限	14：40～16：10						
5 限	18：00～19：30						
6 限	19：40～21：10						